

基礎インターフェイスガイド

この文書はコーパスインターフェイスを使用するための手引きです。

1 Overview（概要） ページ

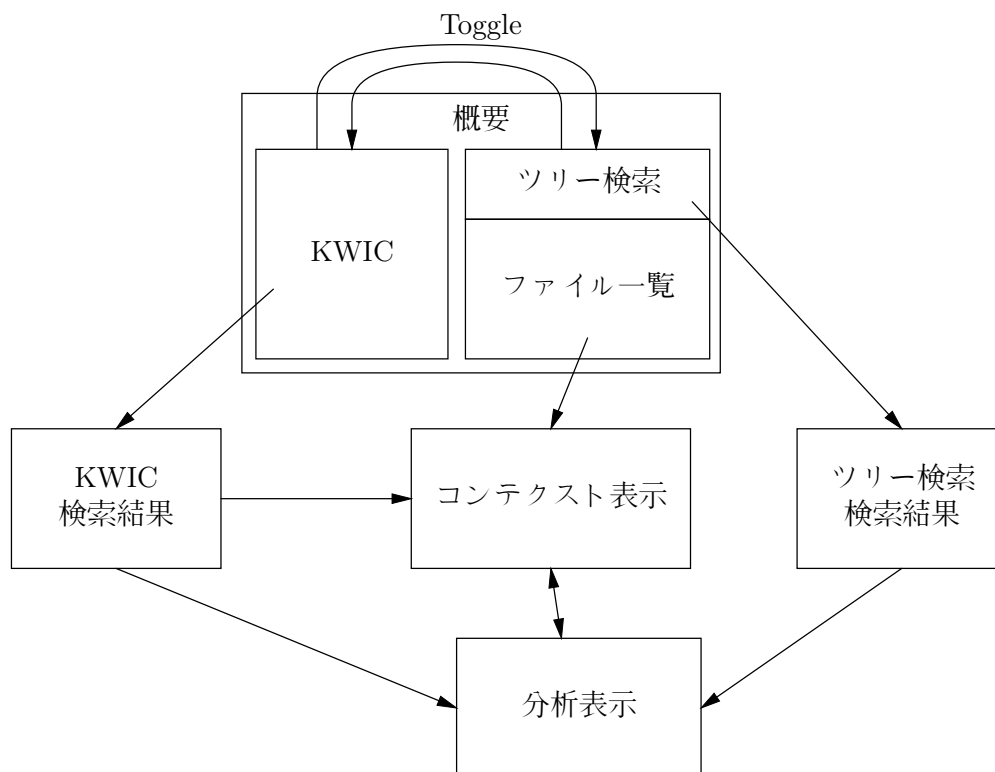
Overview（概要） ページは、2つに分かれています：

- Tree search/file list（ツリー検索・ファイル一覧）（デフォルト）
- KWIC

ページ左上の「Toggle overview」をクリックすることで、2つを切り替えることができます（Figure 2を参照）。

他のページからOverview（概要）ページに戻るには、「Corpus overview」をクリックします。なお、「Corpus overview」をクリックして表示されるのは、上記の2つのうちのあなたが最後に見たページです。ページとページの繋がり、Figure 1に示したとおりです。すべてのページからコーパスデータのAnalysis view（分析表示）ページおよびContext view（コンテキスト表示）ページへと飛べるようになっています。

Figure 1: ナビゲーション



2 Tree search/file list (ツリー検索・ファイル一覧)

Tree search/file list (ツリー検索・ファイル一覧) のページはFigure 2 のようになっています。

Figure 2: Tree search/file list (ツリー検索・ファイル一覧) ページ

[Toggle overview](#) [tree](#) | [source](#) | ... [Main page](#) [Help](#)

Tree search interface
Files:
Tregex search expression:

 ▾ [Toggle tag set](#) [Tregex search guide](#)

40 files; 20,083 trees; 80,772 words

	Filename	tree count	word count	content description
<u>1</u>	diet_kaigiroku-1	75	1081	parliamentary language : Kokkai kaigiroku
<u>2</u>	diet_kaigiroku-2	61	873	parliamentary language : Kokkai kaigiroku
<u>3</u>	diet_kaigiroku-3	159	3930	parliamentary language : Kokkai kaigiroku
<u>4</u>	diet_kaigiroku-4	37	722	parliamentary language : Kokkai kaigiroku
<u>5</u>	diet_kaigiroku-5	111	2869	parliamentary language : Kokkai kaigiroku
...				

リストに含まれるデータすべてのファイル数、ツリー数、語数も示されます。

このページから辿ることのできるページは次のとおりです：

- 1、2などのファイル番号をクリックすると、そのファイルのContext view (コンテキスト表示) ページに切り替わります。
- 「Toggle overview」をクリックすると、KWIC ページに切り替わります。
- 「tree」や「source」などの「[]」で区切られたもののいずれかをクリックすると、Analysis view (分析表示) ページで表示される分析方法が変わります。現在選択されているオプションは背景がグレーになっているものです (注意：分析方法の変更は、Analysis view (分析表示) ページでもできます)。
- 「Main page」はメインページへのリンクです。
- 「Help」は利用可能なドキュメント置き場へのリンクです。

2.1 ファイルの選択

「Files:」の横のテキストボックスにファイル番号を入力することで、検索対象のファイルを選択することができます。例えば、3pは一覧の3番目のファイルを選択します。6,12pは6番から12番までのファイルを選択します。3p;6,12pは3番目のファイル

と6番から12番までのファイルを選択します。最後のpだけ省略することもできます。例えば、3p;6,12pは3p;6,12と入力することもできます。

Figure 3に見るように、ファイル名をスラッシュ(/)で囲むことでファイルを選択することもできます。複数のファイルを指定する場合は、'\'でファイル名を区切ることに注意してください。

Figure 3: ファイル名による検索対象ファイルの指定

[Toggle overview](#) [tree](#) | [source](#) | ... [Main page](#) [Help](#)

Tree search interface

Files:

Tregex search expression:

383 trees; 5,600 words

	Filename	tree count	word count	content description
12	diet_kaigiroku-12	87	1228	parliamentary language : Kokkai kaigiroku
17	diet_kaigiroku-17	296	4372	parliamentary language : Kokkai kaigiroku

テキストボックスにファイルを指定すると、検索対象はそのファイルに制限され、検索結果で表示されるツリーと語数は、指定されたファイルのもののみになります。ファイル選択の情報は、テキストボックスの入力内容が変更または削除されるまで持続されます。

2.2 TGrep2/Tregex 検索式

ツリー検索のための検索式には、TGrep2 (Rohde 2005) またはTregex (Levy, and Andrew 2006) を使います。これらは、異なる検索言語ですが、密接に関連しています。TGrep2 とTregex のどちらを使うかは、検索対象ファイルを選択するか否かによって決まります。

- 検索対象ファイルが選択されていない場合（つまり、Figure 2のように、ファイル選択のためのテキストボックスが空白である場合）は、TGrep2 を使い、コーパス全体を検索します。
- 検索対象ファイルが選択されている場合（つまり、Figure 3のように、ファイル選択のためのテキストボックスに入力がなされている場合）は、Tregex を使い、**選択されたファイルのみ**を検索します。

TGrep2 とTregex はどちらも、Penn Treebank と共に配布された、検索言語であるTGrep (Pito 1994) とよく似ています。

TGrep2 あるいはTregex を使った検索式は、主としてツリーにおけるノードにマッチする表現と、ノードとノードの関係または関係の否定の表現から成ります。ノード表現には、単純な文字列、選言された文字列、あるいは正規表現を使うことができます。複雑な検索式は、ノード表現（マスターノード）とそれに続く関係表現から成ります。

検索式の作り方の詳細は、Figure 2 またはFigure 3 の「TGrep2/Tregex search guide」をクリックしてください。また、「Toggle tag set」をクリックすると、アノテーションで使われているタグの一覧を表示／非表示にすることができます。

TGrep2 は、コーパスのソースデータをコンパイルした検索用データを検索します。コーパスのソースデータが修正された場合、この検索用データの更新が遅れる可能性があります。その場合、TGrep2 の検索結果と検索結果にリンクされたツリーの表示に不一致が生じる可能性があります。なぜなら、インターフェースの他のすべての部分は、（修正の可能性のある）ソースデータに直接アクセスしながら動作しているからです。一方、Tregex では、選択されたファイルのソースデータを直接検索するため、このような不一致は起こりません。

2.3 「Search」 ボタンを押す

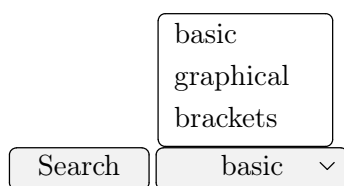
検索式の入力後、「Search」 ボタンをクリックすると検索が開始されます。検索式を入力せずに「Search」 ボタンをクリックすると、(a) 何も起こらないか、または(b) ファイル入力テキストが指定されている場合、「Files」 のリストがそのファイルのみになり、ツリー数と語数もアップデートされます。

2.4 ツリー検索の表示結果の選択

デフォルトのツリー検索の結果は、tree yield として表示されます。tree yield とは、ツリーの終端ノードを1行（文字列）に抽出したデータのことです。また、検索式のマスターノードに一致した部分が強調表示されます。

Figure 2とFigure 3の「basic」 ボタンをクリックすると、Figure 4のように選択メニューが表示されます。「graphical」 を選択すると、検索結果がグラフィカルツリーとして表示されます。「brackets」 を選択すると、検索結果が括弧付きツリーとして表示されます。

Figure 4: 表示形式の選択



3 ツリー検索の検索結果ページ

ツリー検索の検索結果は、次の3つの方法のいずれかによって表示されます。表示方法の選択方法は、2.4節で述べたとおりです。

- 「basic」 を選択すると、検索式に一致したすべてのツリーがtree yield として表示されます。表示順はコーパス順です。
- 「graphical」 を選択すると、検索式に一致したツリーのうち、最大50がグラフィカルツリーとして表示されます。表示順はランダムです。

- 「brackets」を選択すると、検索式に一致したすべてのツリーが括弧付きツリーとして表示されます。表示順はコーパス順です。

ツリー検索結果のページ上部には、検索式にヒットした数とヒット含むファイルの数が示されます。さらに、検索対象のファイルを指定していれば、頻度情報も示されます。

3.1 グラフィカルツリーとしてのツリー検索結果

「graphical」を選択すると、検索結果のページには最大で50のグラフィカルツリーが表示されます。表示順はランダムです。もし50を超える数のツリーが検索式にヒットした場合、検索を再実行すると異なるツリーが表示されます。表示順も検索の再実行により変化します。ツリーと共に表示されるIDは変わりません。このIDは、ツリーの分析表示へリンクされています。検索式のマスターノードと一致したノードは、黄色で示されます。

50以上の結果を見るためには、(a) 「brackets」を選択したうえで検索するか、もしくは(b) すべての検索結果をダウンロードする必要があります。「download all results」ボタンをクリックすると、検索結果をダウンロードすることができます。ダウンロードファイル中の検索結果はコーパス順に並びます。再度ダウンロードを行っても、ダウンロードファイルの内容は変わりません（ただし、コーパス自体が検索・ダウンロードの再実行までに変更された場合、ダウンロードファイルの内容が変わる可能性があります）。

3.2 括弧付きツリーとしてのツリー検索結果

Figure 5は、検索ファイルをdiet_kaigiroku-1のみにし、検索式を/REL/（RELという文字列を含むノードをもつすべてのツリー）、表示形式を「brackets（括弧付きツリー）」にした場合の検索結果です。

Figure 5: 括弧付きツリーの検索結果

Corpus overview

Search pattern: /REL/

The search returned 2 hits. 1 text was searched (2110 words [1 text]; frequency: 9.48 instances per ten thousand words).

Download all results

See analysis

tree ▼

□ 1	<p>この際、新たに就任されました政務次官を御紹介申し上げます。</p> <p>((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*) (PP-OB1 (NP (__IP-REL (NP-SBJ *T*) (NP-TMP (D この) (N 際)) (PU 、) (ADVP (ADJN 新た) (AX に)) (VB 就任) (VBO さ) (VB2 れ) (AX まし) (AXD た)) (N 政務次官)) (P-ROLE を)) (VB 御紹介) (VBO 申し上げ) (AX ます) (PU 。)) (ID 31_diet_kaigiroku-1;JP))</p>
□ 2	<p>通産政務次官を拝命しました山下でございます。</p> <p>((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*) (NP-PRD (__IP-REL (NP-SBJ *T*) (PP-OB1 (NP (N 通産政務次官)) (P-ROLE を)) (VB 拝命) (VBO し) (AX まし) (AXD た)) (NPR 山下)) (AX で) (VB2 ござい) (AX ます) (PU 。)) (ID 34_diet_kaigiroku-1;JP))</p>

太字のtree yieldの下に括弧付きツリーでアノテーションされたデータが示されます。括弧付きツリーでは、検索式のマスターノードに一致したノードが強調表示され

ます（ノードの前にアンダースコアが2つ加えられ、赤く色付けされます）。

それぞれの検索結果には、チェックボックスとヒット番号が与えられます。ヒット番号はツリーのAnalysis view（分析表示）ページへとリンクされています（7を参照）。分析表示の表示形式は、その前に選択した表示形式と同じものになります（もし選択を変更していなければ、ツリー表示になります）。

3.3 すべてのツリーの検索結果をダウンロードする

「Download all results」ボタンをクリックすることで、すべての検索結果をダウンロードすることができます。ダウンロードファイルには、検索式にヒットした数と同数のツリーが含まれます。検索式とのヒットが1つのツリーの中に複数個あった場合、ダウンロードファイルにはそのツリーが複数回含まれます。ダウンロードファイルには、ツリーのどの部分が検索式に一致したかという情報は示されません。

それに対して、括弧付きツリーの検索結果は、検索式のマスターノードに一致した部分を赤色で強調しており、ツリーによっては、複数の一致箇所を含むことがあります。TGrep2/Tregex 自体は一致箇所を示すことがないので、この強調表示は検索結果が出てから二次的に行っています。そのため、検索式との一致箇所の明示はオンラインでしか行っていません。

注意が必要なのは、検索式のマスターノードとの一致箇所が複数回カウントされてしまう可能性があることです。そのようなケースでは報告された検索式とのヒット数と、強調表示された箇所の数が違ってしまう可能性があることに注意してください。

3.4 分析表示における分析モードの選択

Figure 5の「tree」ボタンをクリックすると、Figure 6のような選択メニューが現れます。

Figure 6: 分析モードの選択

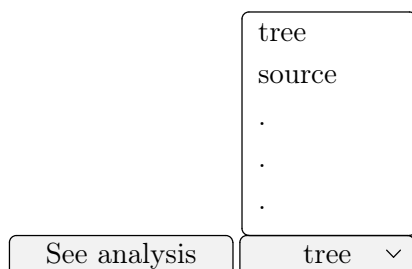


Figure 7は、「source」を選択したところです。

Figure 7: Source モードの選択



「See analysis」ボタンを押すと、検索結果の中の選択されたツリーを分析モードで。ツリーの選択はチェックボックスをクリックして行います。

4 KWIC ページ

KWIC ページはFigure 8のようになっています。テキスト入力ボックスに文字列を入力し、「Search」ボタンをクリックすると、検索が開始されます。KWIC では、検索対象ファイルを選択することはできません。「Toggle overview」をクリックするとTree search（ツリー検索）ページに切り替わります。

Figure 8: KWIC ページ

The screenshot shows the KWIC interface. At the top, there are navigation links: [Toggle overview](#), [tree](#) | [source](#) | ..., [Main page](#), and [Help](#). Below these is a grey box titled "KWIC interface". Inside this box, there is a text input field. Below the input field are two buttons: "Search" and "corpus order ▾".

4.1 文字列検索表現

Figure 8のテキストボックスに入力する表現は、単純な語／文字でなければなりません（ローマ字ベースのコーパスでは、文字はすべて小文字にする必要があります。また、語境界を示すためにスペースを使うことができます）。文字列検索の基になるのはtree yields、つまりツリーの終端ノードを1行に抽出したデータです。ひとつのツリーは通常、ひとつの文に相当します。なお、基になるデータからは句点が排除されています（ローマ字ベースのコーパスでは、すべてのpunctuation が排除されています）。

4.2 検索結果の順番

Figure 8の「corpus order」をクリックすると、Figure 9のように、検索結果の表示順を変更するための選択メニューが現れます。

Figure 9: 検索結果の表示順の選択

This image shows a close-up of the "corpus order" dropdown menu. The menu is open, displaying four options: "corpus order", "left order", "right order", and "random". To the right of the menu, there are Japanese descriptions for each option: "(コーパス順)" for "corpus order", "(前文脈並べ替え順)" for "left order", "(後文脈並べ替え順)" for "right order", and "(ランダム)" for "random". Below the menu, the "Search" button and the "corpus order ▾" button are visible.

5 KWIC 検索結果ページ

Figure 10はデフォルトの「corpus order（コーパス順）」のままで、「もの」という語を検索した結果を示しています。

Figure 10: Corpus order（コーパス順）のKWIC 検索結果

Corpus overview

Search pattern: もの

See analysis		tree ▼
diet_kaigiroku-1 29	□ 1	重要な意義が出てくる -もの- だと考えております
diet_kaigiroku-1 32	□ 2	ので上程には反対する -もの- であります
diet_kaigiroku-2 18	□ 3	円に据え置こうとする -もの- であります
diet_kaigiroku-2 20	□ 4	規定を設けようとする -もの- であります
diet_kaigiroku-2 21	□ 5	から適用しようとする -もの- であります
diet_kaigiroku-2 22	□ 6	る日から行おうとする -もの- であります
diet_kaigiroku-2 29	□ 7	案のとおり改正すべき -もの- と議長に答申するに御異議
diet_kaigiroku-3 52	□ 8	後次第に鈍化してくる -もの- と思われこれにかわるべき

検索結果は伝統的なKWIC（Key Word In Context）として示されます。つまり、検索表現が中央に並び、左右に検索表現の前後の表現が示されます。これにより、検索表現が使われる文脈を見ることができます。

「view」を検索表現として用いると、文字列「view」がどのように、どこに発生するのかということに制約がなくなり、「view」の間に語境界があるものも、より長い語の一部であるものも検索します。一致がより長い語の一部である場合、それはハイフン（-）によって示されます。従って、Figure 10における最初の結果では、「view」はより大きな語「preview」の一部であり、左側のハイフンでそれが示されています。2番目の結果では、「view」は「views」の一部であり、それが右側のハイフンで示されています。8番目の結果では、「view」は「interviewed」の一部であり、それが左右の両方のハイフンで示されています。

Figure 10ではコーパスの中で発生する順番で結果が表示されています。そのため、「corpus order（コーパス順）」の結果表示と言います。

5.1 KWIC の検索結果における行の内容

Figure 10では、検索結果がKWIC で表示されているほか、各行に次のような情報が示されています：

- 当該の例を含むファイル名
- ファイル中の通し番号、これはさらに、当該の例をハイライトしたContext view（コンテキスト表示）ページへとリンクされています（6節を参照）。
- コーパス順の番号、これはさらに、当該の例のAnalysis view（分析表示）ページへとリンクされています（7節を参照）。
- 「See analysis」 ボタンをクリックした際に表示させる例を選択するためのチェックボックス

各行に示される情報の配置は、Figure 11のようになります。

Figure 11: String search（文字列検索）の検索結果ページにおける行の内容

例番号	左側の内容	右側の内容
diet_kaigiroku-2 22	<input checked="" type="checkbox"/> 6	る日から行おうとする -もの- であります
ファイル名	チェックボックス	検索文字列
	コーパス順の番号	

Figure 11では、チェックボックスにチェックが入っています。この状態でページ下部の「See analysis」ボタンを押すと（その前に分析モードを選択しておきます（3.4節を参照））、チェックした例の分析が表示されます。複数の例をチェックし、分析を表示させることもできます。

5.2 Left order（前文脈並べ替え順）

ここまでは文字列検索のcorpus order（コーパス順）での結果表示を見てきました。結果表示の表示順にはほかの選択肢もあります（4.2節を参照）。一度検索したものの表示順を変更するには、ブラウザの「ページを戻る」でString search（文字列検索）ページへ戻り、同じ検索文字列で他の表示順を選択し、検索を再実行します。

表示順の選択肢のひとつがleft order（前文脈並べ替え順）です。これは、Figure 12に見るように、検索文字列の前に現れた文字のコード順に検索結果を並べ替えたものです。なお、ローマ字ベースのコーパスでは、このオプションは検索文字列の前に現れた語のアルファベット順に検索結果を並べ替えます。

Figure 12: Left order（前文脈並べ替え順）の文字列検索結果

Corpus overview

Search pattern: もの

See analysis

tree ▼

diet_kaigiroku-11 65	<input type="checkbox"/> 47	復には予断を許さない	-もの-	があります
diet_kaigiroku-15 10	<input type="checkbox"/> 63	進しなければならない	-もの-	としておりまた指定行政機関
diet_kaigiroku-15 10	<input type="checkbox"/> 64	定めなければならない	-もの-	としております
diet_kaigiroku-15 12	<input type="checkbox"/> 66	努めなければならない	-もの-	としております
diet_kaigiroku-15 13	<input type="checkbox"/> 67	努めなければならない	-もの-	とするとともにこの地震に係
diet_kaigiroku-15 11	<input type="checkbox"/> 65	け出なければならない	-もの-	としております
diet_kaigiroku-3 125	<input type="checkbox"/> 16	ありますとかどういふ	-もの-	の影響が特に響いておるこ
diet_kaigiroku-12 11	<input type="checkbox"/> 53	での十八日間とすべき	-もの-	と一応決定した次第でありま

この順での検索結果表示は、検索文字列とその前の表現を含むより大きなコロケーションを捉えるために有効です。

5.3 Right order（後文脈並べ替え順）

表示順のもうひとつの選択肢はright order（後文脈並べ替え順）です。これは、Figure 13に見るように、検索文字列の後に現れた文字のコード順に検索結果を並べ替えたも

のです。なお、ローマ字ベースのコーパスでは、このオプションは検索文字列の後に現れた語のアルファベット順に検索結果を並べ替えます。

Figure 13: Right order（後文脈並べ替え順）の文字列検索結果ページ

Corpus overview

Search pattern: もの

See analysis

tree

diet_kaigiroku-15 25

☐ 70

限定するのはいかな

-もの-

かということであります

diet_kaigiroku-3 153

☐ 17

て企業行動は競争的な

-もの-

から協調的なものへ変化して

diet_kaigiroku-10 70

☐ 43

関心はいよいよ大なる

-もの-

があります

diet_kaigiroku-11 65

☐ 47

復には予断を許さない

-もの-

があります

diet_kaigiroku-10 21

☐ 41

票者の氏名を記載した

-もの-

が一票あります

diet_kaigiroku-15 38

☐ 73

びその周辺で発生した

-もの-

だけでなく一九六〇年のチリ

diet_kaigiroku-29 29

☐ 1

重要な意義が出てくる

-もの-

だと考えております

diet_kaigiroku-50 50

☐ 36

安定的発展に貢献する

-もの-

でありいわば画期的な意義を

この順での検索結果表示は、検索表現とその後の表現を含むより大きなコロケーションを捉えるために有効です。

5.4 Random order（ランダム順）

表示順の選択肢にはrandom order（ランダム順）もあります。これは、検索結果をランダムな順に並べたものです。検索結果が多く、そしてデータセット全体からの印象を必要とする場合に役立つでしょう。

6 Context view（コンテキスト表示）

Context view（コンテキスト表示）は3つの方法で見ることができます：

1. Tree search（ツリー検索）／ファイル一覧ページで、ファイル番号をクリックする（上記のFigure 2を参照）
2. String search（文字列検索）の検索結果の例番号をクリックする（上記のFigure 11を参照）
3. Analysis view（分析表示） ページ上部の「Context」をクリックする（Figure 16とFigure 17を参照）

2番目と3番目の方法でContext view（コンテキスト表示）を表示させると、当該の例がハイライトされ、その例のチェックボックスにチェックが入った状態になります（チェックを外すこともできます）。さらに、ページの一番上ではなく、当該の例がすぐに見えるように表示されます。

Figure 14に見るように、Context view（コンテキスト表示）では、ページ上部にファイルのメタデータ（タイトル、日付、ソースなど）が示され、また、ファイル中のすべての文が表示されます。それぞれの文には番号とチェックボックスが付いており、文番号をクリックすると、その文のAnalysis view（分析表示）に移動しま

す。Analysis view（分析表示）のモードは、あなたが直前に見た形式になります（もし選択が変更されていなければ、それはtree（ツリー）モードになります）。

Figure 14: Context view（コンテキスト表示）ページ

Toggle context view
Corpus overview

title:	Kokkai kaigiroku
date:	2014
source:	http://kokkai.ndl.go.jp/SENTAKU/syugiin/078/0001/07809240001003a.html
genre:	spoken
terms of use:	Public domain

Lines:

Refresh selected lines

See analysis
tree ▾

☐ 1

 ○議長（前尾繁三郎君）

☐ 2

 これより会議を開きます。

☐ 3

 ○議長（前尾繁三郎君）

☐ 4

 内閣総理大臣から所信について発言を求められております。

☐ 5

 これを許します。

複数のチェックボックスにチェックを入れ、複数の文を選択することができます。選択解除も自由に行うことができます。複数の文を選択する際に、それらが隣接している必要はありません。文を選択し、ページの下部の「See analysis」ボタンをクリックすると、選択された文のAnalysis view（分析表示）に移動します。また、分析モードはプルダウンメニュー（Figure 6を参照）から選択することができます。

「Lines:」横のテキストボックスに文番号を入力し、「Refresh selected items」ボタンをクリックすると、その文をハイライトすることができます。

文番号の入力方法は、ツリー検索における検索対象ファイルの入力方法（2.1節）と似ています。3pはそのファイルの中の3番目の文を、6,12pは、6番目から12番目までの文を、3p;6,12pは、6番目から12番目の文および3番目の文を表します。pは省略することが出来ます。

Figure 14 の「Corpus overview」をクリックすることでOverview（概要）ページへ戻ることができます。また、「Toggle word analysis」のクリックで、語の品詞情報を表示／非表示の切り替えができます。品詞情報を表示させると、Figure 15 のようになります。

Figure 15: 品詞情報付きのContext view（コンテキスト表示）

Toggle context view
Corpus overview

title:	Kokkai kaigiroku
date:	2014
source:	http://kokkai.ndl.go.jp/SENTAKU/syugiin/078/0001/07809240001003a.html
genre:	spoken
terms of use:	Public domain

Lines:

Refresh selected lines

See analysis
tree ▼

<input type="checkbox"/> 1	○ 議長（前尾繁三郎君） SYM N PUL NPR PUR
<input type="checkbox"/> 2	これより会議を開きます。 PRO P-ROLE N P-ROLE VB AX PU
<input type="checkbox"/> 3	○ 議長（前尾繁三郎君） SYM N PUL NPR PUR
<input type="checkbox"/> 4	内閣総理大臣から所信について発言を求められております。 N P-ROLE N P-ROLE N P-ROLE VB PASS P-CONN VB2 AX PU
<input type="checkbox"/> 5	これを許します。 PRO P-ROLE VB AX PU

7 Analysis view（分析表示）

Analysis view（分析表示）を見るには様々な方法があります。主な方法は次のとおり：

1. グラフィカルツリーとしての検索結果におけるIDをクリックする
2. 括弧付きツリーとしての検索結果におけるヒット番号をクリックする（Figure 5を参照）
3. 括弧付きツリーとしての検索結果で、チェックボックスから例を選択し、「See analysis」ボタンをクリックする
4. String search（文字列検索）の結果ページにおけるコーパス順での番号をクリックする（Figure 11を参照）
5. String search（文字列検索）の結果ページで、チェックボックスから例を選択し、「See analysis」ボタンをクリックする（Figure 10、Figure 12、Figure 13を参照）
6. Context view（コンテキスト表示）の文番号をクリックする（Figure 14 とFigure 15を参照）
7. Context view（コンテキスト表示）で、チェックボックスから例を選択し、「See analysis」ボタンをクリックする（Figure 14 とFigure 15 を参照）

1、2、4、6の方法は、1つの例に対する分析表示を表示します。そのときのモードは、あなたが最後に見たモードと同じものになります（もし何もしなければ、tree（ツリー）モードになります）。3、5、7の方法では、複数の例に対する分析表示を一度に表示します(Figure 6を参照)。

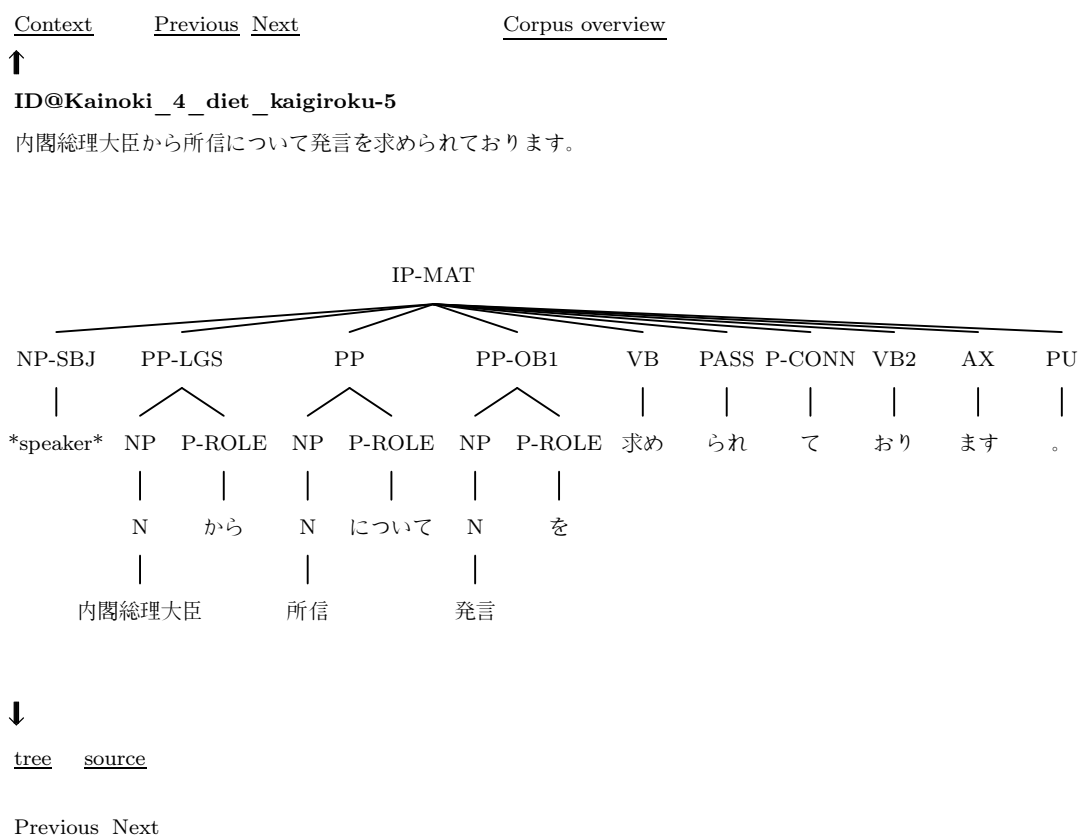
7.1 Tree（ツリー）モード：ツリーを1つ表示させた場合

デフォルトのAnalysis view（分析表示）では、その解析情報がグラフィカルツリーとして表示されます。一例として、(1)の文の分析を考えてみましょう。これは、コーパスのdiet_kaigiroku-5というファイルの4番目の文であると仮定します。

(1) 内閣総理大臣から所信について発言を求められております。

Figure 16は(1)の解析情報をグラフィカルツリーとして表示したものです。

Figure 16: 単一のツリーのtree（ツリー）モードでの表示



前述のとおり、ページの最下部から、分析モードを変更することができます（「source」はFigure 16での利用可能なもうひとつの分析モードです。閲覧しているコーパスによっては、さらに他にも選択肢があります）。

Figure 16におけるグラフィカルツリーの上には、そのツリーのtree yield（終端ノードを抽出したもの）が表示されます。その上には、そのツリーの識別情報、つまり、Kainokiコーパスの中の、diet_kaigiroku-5というファイルの中の、4番目の文であることが表示されます。

識別情報のすぐ上には、大きな上向き矢印があります。この上向きの矢印をクリックすると、直前のツリー（つまり、diet_kaigiroku-5の中の3番目のツリー）の分析が現れ、それにより複数のツリーの分析が表示されることとなります（7.2節を参照）。

また、グラフィカルツリーのすぐ下には大きな下向き矢印があります。この下向き矢印をクリックすると、直後のツリー（つまり、diet_kaigiroku-5の中の5番目のツリー）の分析が現れます。

上向きの矢印の上には、いくつかのリンクがあります。「Context」をクリックすると、ファイル（ここではdiet_kaigiroku-5）のContext view（コンテキスト表示）が開き、グラフィカルツリーとして表示されていたツリー（4番目のツリー）のyield が全体のコンテキストと共にハイライトされます。

「Previous」をクリックすると、現在表示されているツリーの前のツリーを表示させることができます。同様に、「Next」をクリックすると、現在表示されているツリーの次のツリーを表示させることができます。「Previous」と「Next」は、ファイルの最初あるいは最後まで繰り返されます。これらのリンクは表示されるツリーを切り替えます。したがって、上向き矢印、下向き矢印とは使い方が異なります。

「Corpus overview」をクリックすると、Overview（概要）ページに移動します。

7.2 Tree（ツリー）モード：複数のツリーを表示させた場合

前節ではツリーを1つ表示させた場合のTree（ツリー）モードについて見てきました。次に、diet_kaigiroku-5の4番目と5番目の文である、(2) について考えてみましょう。

(2) 内閣総理大臣から所信について発言を求められております。これを許します。

Figure 17では、(2)の2つの文の両方の解析情報がグラフィカルツリーとして表示されています。

Figure 17: 複数のツリーのtree（ツリー）モードでの表示

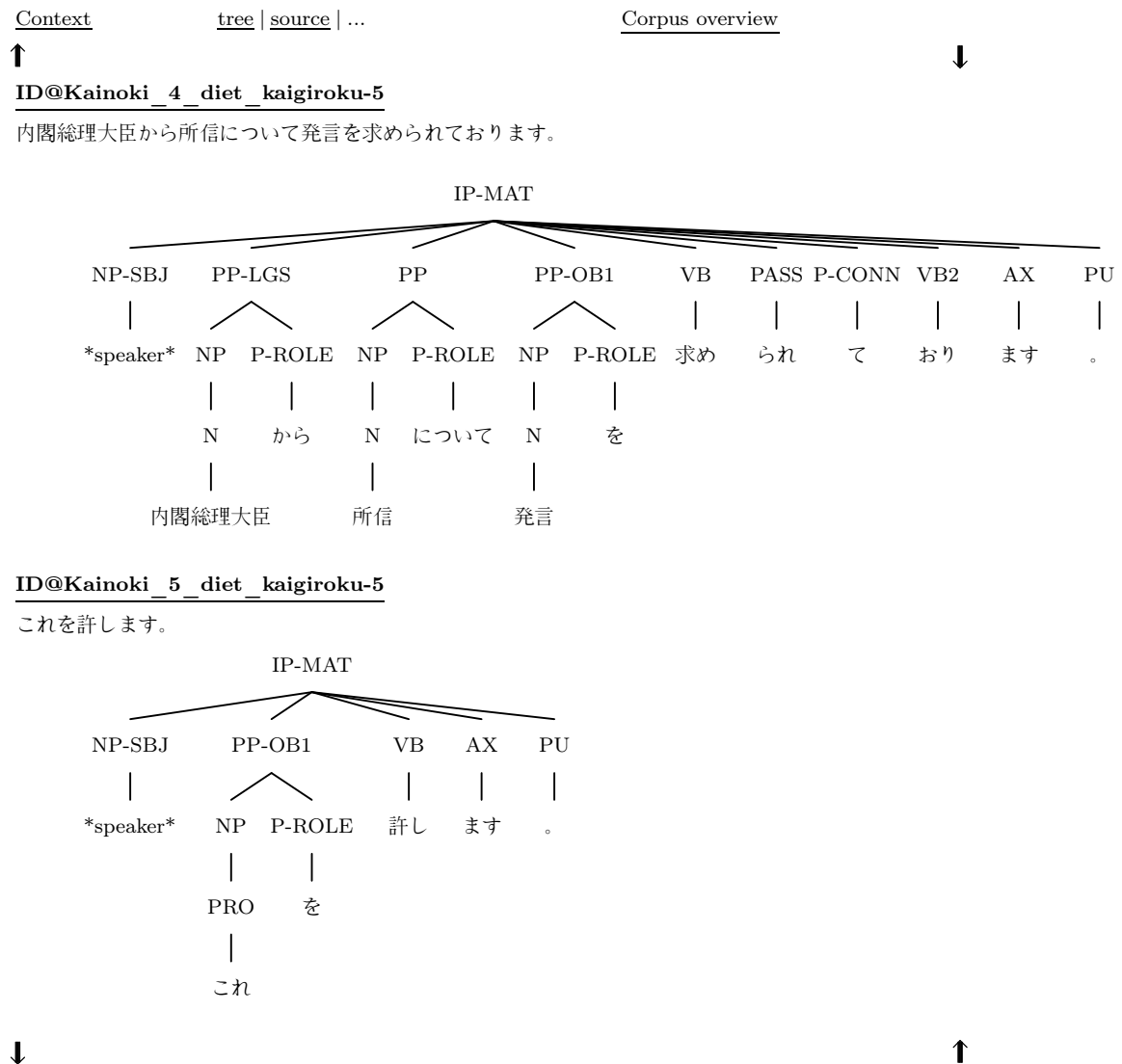


Figure 16の1つのツリーの場合と同様に、Figure 17の複数のツリーの場合も、直前あるいは直後のツリーを、上向き矢印あるいは下向き矢印をクリックして表示させることができます（利用可能な場合に）。Figure 17のように複数のツリーを表示させている場合、最初のツリーの右上にある下向き矢印をクリックするとそのツリーを表示から削除することができます。また、最後のツリーの右下にある上向き矢印をクリックするとそのツリーを表示から削除することができます。

左上の上向き矢印と右上の下向き矢印の上には、Overview（概要）ページに戻るためのリンク「Corpus overview」と、表示されているツリーをハイライトさせたContext view（コンテキスト表示）を開くためのリンク「Context」があります。

表示されている、それぞれのツリーの上には、そのツリーの識別情報が表示されます。ここでは、この識別情報は、Kainokiコーパスの中の、diet_kaigiroku-5というファイルの中の、4番目と5番目の文であることを意味しています。識別情報には下線が引かれていますが、これをクリックすると、そのツリーだけの分析表示に切り替わります。